

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメールマガ担当です。

先日、岩手県に2回目の独自の緊急事態宣言が出されました。教育現場でもクラスターが発生するなど、子どもたちの感染も増えています。それに伴い、休校（園）、行事の中止・縮小等を余儀なくされている子どもたちも多いと思います。大人でさえ、ストレスを感じているのですから、子どもたちのストレスも大きいことと思います。

コロナ禍におけるストレスの調査や研究が様々行われています。いくつか紹介したいと思います。

日本財団と三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングの調査によると、新型コロナウイルス感染症における学校行事の中止や縮小は、学校段階が低いほど、子どもたちの非認知能力(※)や生活習慣に対し、好ましくない影響があるという結果が出ていました。特に低年齢児の非認知能力・生活習慣等に悪影響を与えるため、教育現場内外で失われた機会を、工夫して、様々な体験や生活支援を提供することでカバーすることが望まれています。

(※) 非認知能力 (英語では non-cognitive skills)

→IQ や学力テスト、偏差値などのように点数や指標などで明確に認知できるものではなく、子どもの将来や人生を豊かにする一連の能力のこと。例えば、やり抜く力、目標に向かって頑張る力、自制・自律性、自己肯定感、他者への配慮、コミュニケーション能力、論理的な思考力など

○公益財団法人日本財団 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社による

コロナ禍が教育格差にもたらす影響調査 一調査レポート はこちらから

https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2021/06/new_pr_20210629.pdf

国立研究開発法人 国立成育医療研究センターで、第5回【コロナ×こどもアンケート】を実施しました。『お気に入りのストレス発散(はっさん)方法をおしえてください。』(自由記載)への回答の一部を紹介している『こどもが考えた「気持ちを楽にする23のくふう」』です。

1. だれかに話す 聞いてもらう
2. 声に出す
3. 書き出す
4. 絵をかく
5. 歌う 音楽をきく

○あとの18個は、こちらから見られます。

<http://www.ncchd.go.jp/news/2020/20200410.html>

子どもたちは子どもたちなりの発散方法を考えているのだと感心させられます。最後に、こんなことが書いてありました。

「ストレスを感じることは悪いことではないのです。～中略～。わたしたちの生活からストレスをゼロにすることはできません。でも、そんなとき、自分のストレスに気がついて、みんなの中にあるいろいろな「くふう」の引き出しから「いま」できることをためしてみると、毎日がちょっと楽になるかもしれません。」

長引くコロナ禍の中、子どもだけでなく親である自分も、いやなことがあったりイライラしたりするときには、親子でこの「くふう」について考えてみるのもいいかもしれませんね。親子で、家族で、解決が難しいときには、すこやかダイヤルまでご相談ください。メール相談も受け付けています。相談員が解決のために一緒に考えます。お待ちしております。

★次回の配信は、2/3（木）が当センターの研究発表会のため、2/2（水）になります(^_^)/

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★